

使いかた

●操作した30秒後、液晶ディスプレイは少し暗くなります。再度操作するとまた明るくなります。

「電源」ボタン

- 電源ボタンを押すと電源が入り運転状態になります。
- 運転中に「電源」ボタンを押すと表示が消え、全ての運転が停止します。
- 運転停止後、差込みプラグを抜かず再度「電源」ボタンを押すと、停止中の風量設定で運転をします。

「風量」ボタン

- 運転中に「風量」ボタンを押すと右図のように風量が切替わります。



「リズム風」ボタン

- 運転中に「リズム風」ボタンを押すとリズム風のマークが表示され、風量がリズムカルに変化するリズム風モードになります。
- 再度「リズム風」ボタンを押すと通常運転に戻ります。

「首振り」ボタン

- 運転中に「首振り」ボタンを押すたびに、右図のように首振り切り替わります。

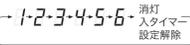


「タイマー」ボタン

- 設定した時間になると自動的に運転を開始します。

1. 運転を停止させた状態にします。(差込みプラグがコンセントに差込まれているのを確認してください)
2. 「タイマー」ボタンを押してお望みの時間を設定します。

- 入タイマー表示が点滅し、ボタンを押すたびに右図のようにタイマー表示が切り替わります。
- 時間がたつとタイマー表示が切り変わり、残りの時間を表示します。



3. 「風量」「リズム風」ボタンを押してお望みの設定にします。

- 設定した風量、設定で運転を開始します。
- 差込みプラグを抜かず何も設定しない場合は、停止中の風量、設定で運転を開始します。
- 差込みプラグを入れ直し、何も設定しない場合は、「弱」で運転を開始します。

30秒間何も操作しないとタイマー表示が点滅し、セットが完了されます。セットしたあと「風量」「リズム風」ボタンを押すと設定内容の確認ができます。

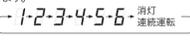
入タイマーを取り消す場合・・・

入タイマー予約表示が消えるまで「タイマー」または「電源」ボタンを押してください。

切タイマー

- 設定した時間になると自動的に運転を停止します。

- 運転中に「タイマー」ボタンを押してお望みの時間を設定します。
- ボタンを押すたびに右図のようにタイマー表示が切り替わり、残りの時間を表示します。
- 設定時間が終わると、タイマー表示が消え、自動的に停止します。
- ※切タイマーは、運転中ではないとセットできません。



6

風向調節

- 風向きを上下に変えるとき

フリックアップ式

- ガードを持って上・下に支えます。



- 風向きを左右に変えるとき

自由首振り式

- ガードを持って左・右に変えます。



お手入れについて

お手入れのしかた

- お手入れ前に運転を停止し、必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜いてください。
- 羽根、本体の汚れは、ぬるま湯か中性洗剤を浸した布でふき取った後、柔らかい布で空がししてください。
- シンナー、ベンジン、アルカリ洗剤、灯油、ペンゾール、アルコール、みがき粉などでふかないでください。(樹脂や塗装部分に変色、変質する恐れがあります。)
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質したり塗装がはがれたりすることがありますので、ご注意ください。
- 長い間ご使用になると、差込みプラグとコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので、差込みプラグを抜き、乾いた布でふきとってからご使用ください。

保管のしかた

- 保管の前に運転を停止し、必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜いてください。
- ガード及び羽根は「組立てかた」と逆の順序ではずしてください。
- モーター軸は、よく汚れをとった後、全面にうすくシンナー油をひき、もとどおりにチューブをふくませてください。
- 本体や羽根についた油はよくふき取ってください。樹脂が変色したり破損する恐れがあります。
- 湿気の少ないところに保管してください。

修理サービスを依頼する前に

- 故障かと思ったら、つぎの点をお調べになってからお買上げの販売店にご相談してください。

こんなとき	おたしかめください
「電源」スイッチを操作しても、羽根が回らない。	●差込みプラグは、コンセントにしっかり差し込まれていますか？ ●羽根とガードが当たっていませんか？
異常音がある。	●羽根はしっかりと取り付けていますか？ ●ガードはしっかりと取り付けていますか？ ●羽根とガードが当たっていませんか？

- 絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。

分解止

7

傷んだ電源プラグや電源コードは、絶対に交換、分解、修理、改造をしないでください。

- 火災や感電の原因になります。
- 電源プラグや電源コードが破損したときは直ちに使用を中止し、当社お客様相談センターにお問い合わせください。



修理サービスについて

(1)保証書

- この製品には、保証書がついています。保証書は、お買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。

(2)修理を依頼される時

- 保証期間中でも保証書のご提示が、有料修理となる場合がございます。
- 保証期間が過ぎているときは修理により修理できる場合は、お客様ののご要望により有料修理いたします。

- (3)補修用性能部品の保有期間
この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品の)保有期間は、製造打切後8年です。
- (4)ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、あたちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
- お客様自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。
- (5)修理サービスについてご不明な場合は修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店にご依頼ください。

長期間使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)
※経年劣化により危険の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた表示を本体に行っています。
【製造年】(本体に西暦4桁で表示があります)

- ※【設計上の標準使用期間】 8年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)
※運転時間や過熱度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な支障を保證するものではありません。

大項目	中項目	小項目	備考
環境条件	電圧	100V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hz及び60Hz	
	湿度	30℃	JIS C9601 参照
負荷条件	設置条件	標準設置	機器の取扱説明書による
		定格負荷(風速)	機器の取扱説明書による
想定時間等	1日あたり使用時間	8 (h/日)	
	1日使用回数	5 (回/日)	
	1年間の使用日数	110 (日/年)	
	スイッチ操作回数	550 (回/年)	
	普通運転の割合	100 (%)	

- 「経年劣化とは」・・・長期間にわたる使用や使用に伴い生ずる劣化をいいます。

8

SKJ-K309WDC8

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

この扇風機は、羽根の回転による風で感傷を得たり、室内の空気を循環させるために使用するもので、一般家庭用として生産されたものです。これ以外のご使用は絶対しないでください。この用途以外(観賞魚・植物・ペット用など)及び一般家庭用以外(業務用など)でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

表示について

※ここに示した「安全上のご注意」は、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのもの、「警告」「注意」の2つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告

取り扱いは誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。

注意

取り扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると判定される内容を示します。

表示の例

●お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。(下記は絵記号の一例です。)

この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

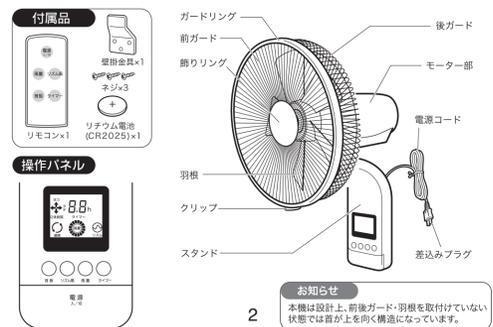
- 羽根・ガードをつげずにモーターを運転しないでください。
●ケガの原因になります。
- 絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。
●異常動作してケガや発火の原因になります。
- 水につけたり、水等をかけたりしないでください。
●ショート・感電の恐れがあります。
- コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。また、差込みプラグとコンセントの間にホコリや金属や水分を付着させないでください。
●感電・ショート・発火の原因になります。
- 交流100V以外では使用しないでください。
●異常発熱して、火災の原因になります。
- お手入れの際は、必ず差込みプラグを抜いてください。
- ぬれた手で抜き差ししないでください。
●本意に作動して、ケガをしたり感電の原因になります。
- 電源コードを傷ついたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物をせたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。
●電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。
- 電源コードや差込みプラグが傷んだり、破損しているときは使用しないでください。
●感電・ショート・発火の原因になります。

1

注意

- 風を長時間、からだにあてないでください。
●感傷を患うことがあります。
●特に乳幼児、お年寄り、ご高齢の方にはご注意ください。
●ケガの原因になります。
- スプレーをかけた後、乾燥剤、殺菌剤、防虫剤、また、油や薬品のかかる場所で使用しないでください。
●樹脂や塗装部分に変質したり、破損の原因になります。
- 次の場所では、使用しないでください。(ガスレンジ等の炎の近く、引火性ガスのある所、雨や水のかかる場所。)
●樹脂や塗装部分に変質したり、破損の原因になります。
- 外出するときなど使用しないときや何か異常があった場合はすみやかに差込みプラグを抜いてください。
●事故の原因になります。また、思わぬ誤動作を生じることがあります。
- ガードの中や可動部へ指などを入れないでください。
●特に持ち運びする際にはご注意ください。
●ケガの原因になります。
- 本体にぶら下らないでください。
●破損や落下により、ケガの原因になります。
- 扇風機カバーをご使用の場合ホコリ等がこぼれた状態で使用しないでください。
●モーター部が加熱し、故障や事故の原因になります。
- 差し込みプラグを抜くときは、電源コードを握らずに必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜いてください。
●羽根が割れたり、故障や事故の原因になります。

各部の名称



お知らせ
本機は設計上、前後ガード・羽根を取付けていない状態では音が上を向く構造になっています。

2

組立てかた

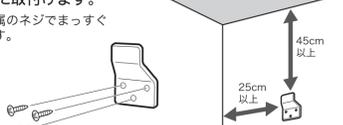
- ご使用前に次の順序で正しく組立ててください。
- 包装ケースは、保管する時に必要ですから捨てないでください。
- ガード、羽根を取付けていない状態では、モーター部をお望みの角度(上下)に調節できません。

警告

- 組立て前、あるいは組立て中に差込みプラグをコンセントに差込まないでください。
●モーター軸が回り出し、ケガの原因になります。

1 壁掛金具を壁に取付けます。

垂直な壁に、付属のネジでまっすぐ確実に取付けます。



2 スタンドを壁掛金具に取付けます。

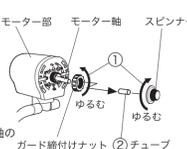
スタンド裏面の壁掛用穴に壁掛金具を差し込み、少しゆずりながら固定します。



- コードを、本体と壁面の間にはさみ込まないようにしてください。
- 取り付け後、本体が確実に固定されているか確認してください。

3 モーター部の下記部品をはずします。

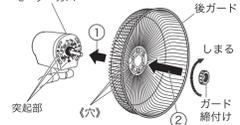
- ①スピナーとガード締付けナットはモーター部についていますので「ゆるむ」の方向にはずれるまで回してください。
 - ②モーター軸のチューブをはずします。(チューブをはずさないで羽根をつけることができません。)
- ※チューブは扇風機を保管するとき、モーター軸のサビ防止となりますので捨てないでください。



3

4 後ガードを取付けます。

- ①モーターカバーの突起部に後ガードの穴を合わせます。
- ②ガード締付けナットを「しめる」の方向に回して、後ガードが使用できるまじょうにしっかりと締付けてください。

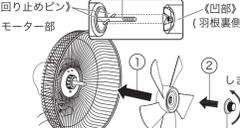


警告

- ガード締付けナットとスピナーは、使用中にゆるまないようしっかりと締付けてください。
●締付けが不十分ですと、ガードと羽根が接触して羽根割れの原因となります。

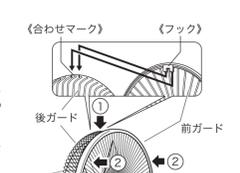
5 羽根を取付けます。

- ①羽根の凹部とモーター軸の回り止めピンを合うようにして羽根を差込みます。
- ②スピナーを左回転「しめる」の方向に回して、羽根が使用中にゆるまないようしっかりと締付けてください。



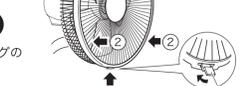
6 前ガードを取付けます。

- ①前ガードのフックを後ガードのマークに合わせて掛けます。
- ②前ガードの全周を押さえて上から下へ順番に後ガードへ確実にはめ込みます。
- ③クリップは前ガードと後ガードをさきまむよう確実に止めてください。



前ガードをはずすときは・・・

- クリップをはずし、ガードリングの真下を手前へ引き、前ガードをはずしてください。



4

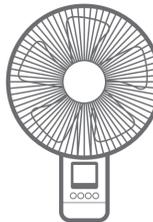
KJapan

保証書添付(本紙)

30cm羽根DC立体首振りリモコン壁掛扇風機

SKJ-K309WDC8

取扱説明書



このたびは、扇風機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、取扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。

- 6時間/切タイマー
- マイコン
- リズム風
- リモコン

愛情点検 長年ご使用の扇風機の点検を！！

- 電源を入れたても動かないときがある。
●電源コードを動かすと、通電したり、しなかなたりする。
●運転中に異常な音や振動がある。
●こげ臭いにおいがする。
●差込みプラグ、電源コード、本体などが異常に熱い。
●その他の異常、故障がある。
- 使用中止
故障や事故の防止のため、運転を停止し、コンセントから差し込みプラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
なお、点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

電圧 (V)	100
形数 (Hz)	50/60
消費電力 (W)	2W(弱)~26W(強)
回転数 (r/min)	1070
風速 (m/min)	195
風量 (m³/min)	55
音角角度 (度)	左右85 / 上下20
コード (m)	ニールコード 1.6
製品寸法 (mm)	幅365×奥行300×高さ600
質量 (kg)	約2.8

●この製品は海外ではご使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY

使いかた

- はじめてご使用になる時は、少し臭いが発生することがありますが、ご使用にともない消えます。
- 操作は、リモコンと本体操作パネルの両方でできます。
- 差込みプラグを交流100Vのコンセントに根元まで確実に差込んでください。
- 差込みプラグをコンセントに差し込んだ状態では、操作パネルが少し熱くなる場合がありますが、制御回路に微電流が流れているためで、故障ではなく危険ありません。
- 差込みプラグの抜き差しは運転を停止してから行ってください。

リモコン操作上のご注意

- リモコンの送信部をスタンドの受信部に向けて操作してください。
- 受信部以外の方向へ向けると作動しないことがあります。
- リモコンは落としたり、強い衝撃を与えたり、水などでぬらさないでください。



- 電池が消耗しますと、遠隔操作できる範囲が狭くなりますので、ご注意ください。
- インバーター式の照明器具の下や、直射日光の下では、リモコンの受信感度が落ち、作動しないことがあります。
- 運転中に停電した場合や、差込みプラグが抜けた場合、「切」になりますのではじめてから操作し直してください。

電池の取付けかた及び注意

- 1 リモコンの電池ホルダーのロックを矢印の方向動かし解除し、電池ホルダーを引き抜きます。
- 2 電池を交換します。
- 3 電池ホルダーをリモコンに差し込みます。



- 電池は、使い方を誤ると電池の漏れで製品が腐食したり、電池が破裂する恐れがあります。
- 電池は、指定の電池(イン型リチウム電池3.0V、品番CR2025)と交換してください。
- 電池は、使えなくなったら、速くに取り出して処分してください。ボタン電池はお子様がつけて飲み込むと危険です。万が一飲み込んだ場合は、速く医師に相談してください。
- シーズン終了後、電池は必ず抜いて保管してください。

5